大阪府障がい児等療育支援事業　地域別交流（研修）会
令和8年11月25日（水）・12月10日（木）・12月16日（水）

こどもの行動背景を「感覚」から考える
～一人ひとりの「その子らしさ」を大切に～

関西医科大学　大学院生涯健康科学研究科/リハビリテーション学部作業療法学科
松島佳苗（作業療法士・公認心理師）

本日のお話

1．**感覚統合の考え方に触れる**
　　1）感覚について知る
　　2）自分の感覚特性について考える（多様性への理解）
　　3）感覚の問題は目に見えにくい体験

2．**本人と周囲を支援する**
　　1）支援の目的を考える
　　2）個別性を重視する

3．**まとめとご案内**

感覚統合とは？

自身の身体や環境からの感覚情報を整える**神経学的過程**であり、環境の中で自己の身体をうまく使えるようにすること

（Ayres, 1972）



（出典）CLASI https://www.cl-asi.org/aotfscholarship（2026/11/9検索）

Ayres Sensory Integration® Fidelity Measure (ASIFM)

（エアーズ感覚統合忠実度尺度）（Parham, 2007;2011)

1. セラピストは、子どもの物理的な安全を確保する
2. セラピストは、子どもに感覚経験を提供する
3. セラピストは、落ち着いた状態になり、それを維持できるよう感覚の調整を支援する
4. セラピストは、姿勢、眼球、口腔、両側の運動制御を必要とする課題を提供する
5. セラピストは、行為機能と行動の組織化に挑戦する
6. セラピストは、子どもと協働して活動を選択する
7. セラピストは、活動が**ほどよい挑戦**になるように調整する
8. セラピストは、**成功体験**を確実にする
9. セラピストは、子どもの遊びに対する**内的動機づけ**を支える
10. セラピストは、子どもと治療的同盟関係を構築する

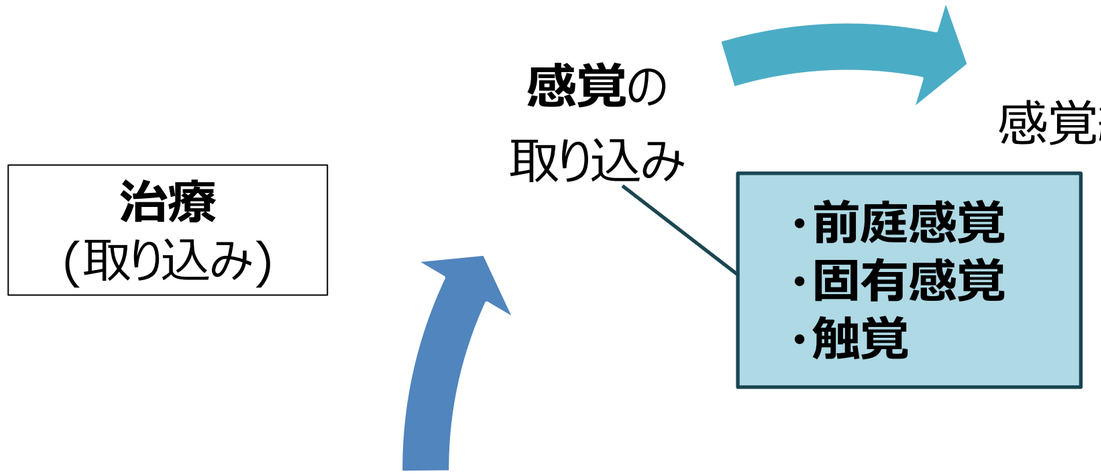
何を目的としているか？



Illustration generated using Gemini

Bundy & Lane（編著）;土田（監訳). 感覚統合とその実践第3版（p.346）*Sensory Integration Theory and Practice* , 2025を一部改変引用

感覚統合理論（SI）の概念図（学習の構成要素）



治療
(取り込み)

感覚統合

- **前庭感覚**
- **固有感覚**
- **触覚**

理論
(中枢神経系による処理)

行動の企画と
組織化

最終産物

- 集中力
- 組織力
- 自尊心
- 自己コントロール
- 自信
- 教科学習能力
- 抽象思考や論理能力
- 左右の肢体と脳の特殊化

適応的な
相互作用/学習

評価
(出力)

フィードバック

注意！

ブランコに乗る ≒ 感覚統合

トランポリンを飛ぶ ≒ 感覚統合

※理論に基づく支援が大切になります

Bundy & Lane（編著）;土田（監訳). 感覚統合とその実践第3版（p.6）*Sensory Integration Theory and Practice,* 2025を一部改変引用

感覚について



触　覚



固有感覚



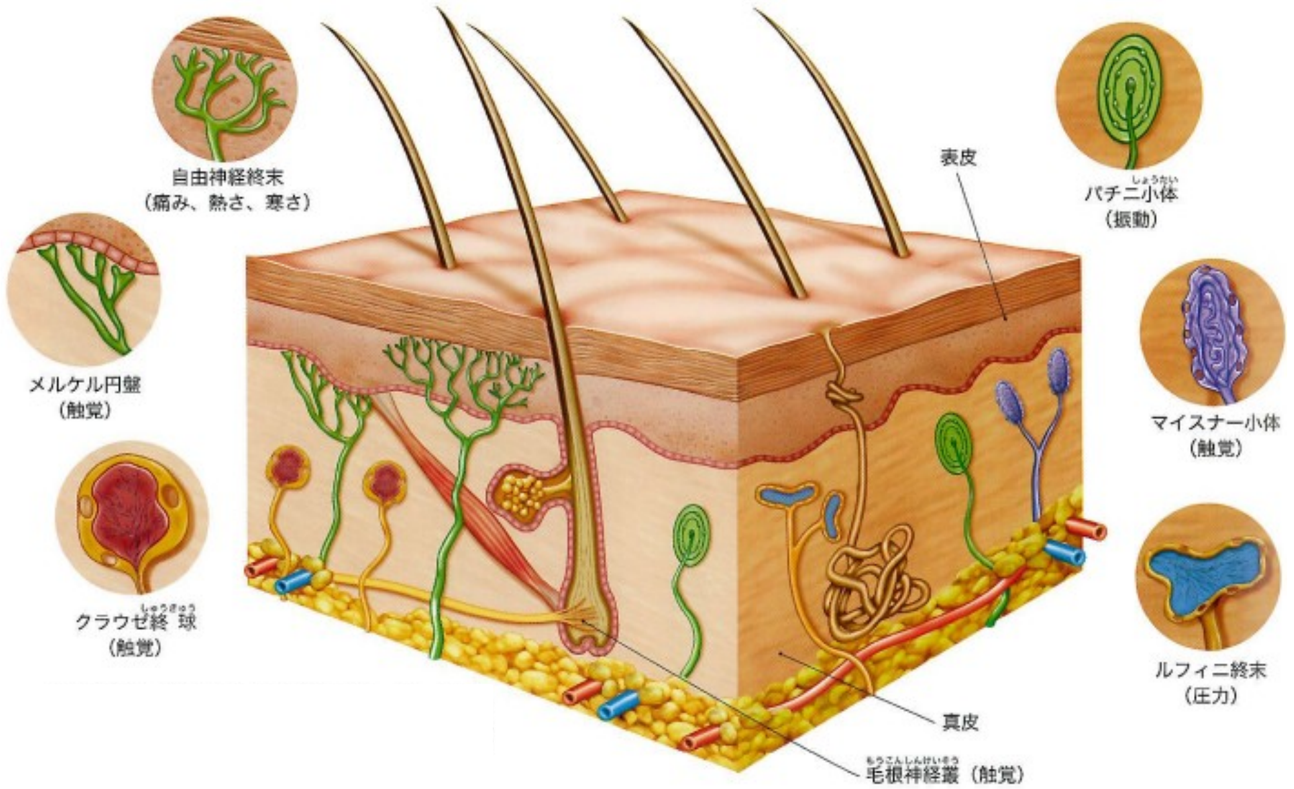
前庭感覚

触　覚

触覚的な心地よさ　親子の絆



Illustration generated using Gemini



（出典）Ashwell; 松元(監訳)：脳と心と身体の図鑑, 2014

情動的タッチ（affective touch）

社会的タッチ（social touch）と呼ばれることもある

C触覚繊維を生理的神経基盤としている

→ 皮膚の有毛部に多く存在

約1～10㎝／秒の**ゆっくりとした軽く優しいタッチ　人肌の温度**に最も敏感

情動的タッチが乳児（9ヵ月字）の心拍数を下げる　（Fairhurst et al., 2014）

Fairhurst et al., Psychol Sci. 25(5): 1124–1131, 2014

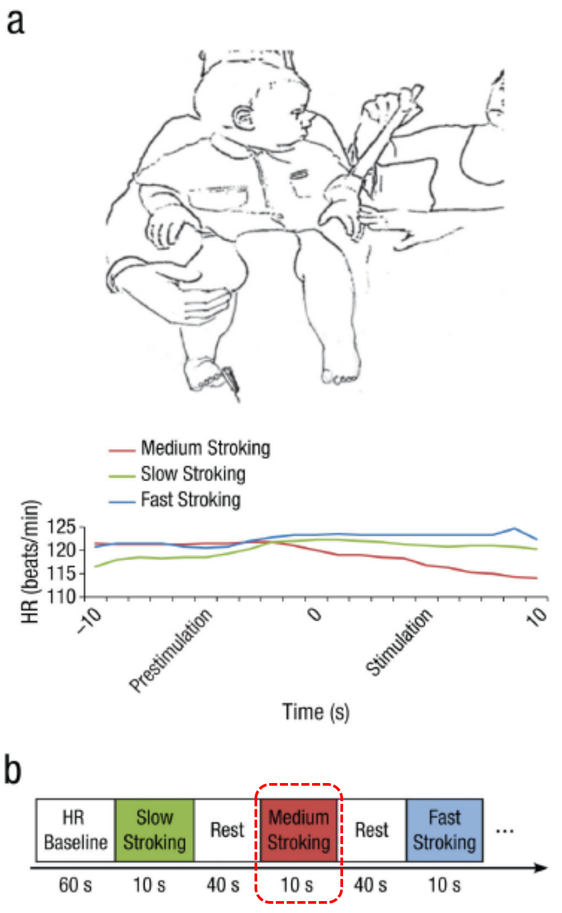


Fig. 1.
Experimental paradigm (a) and sample timeline (b). The illustration shows the experimental setup. The infant was seated in a Bumbo baby seat placed on the lap of the parent. Parent and infant faced a monitor, which played a distractor film. The experimenter was seated beside the infant so she could easily stroke the infant's nondominant dorsal forearm with an artist's paintbrush at one of three velocities (slow: 0.3 cm/s, medium: 3 cm/s, fast: 30 cm/s). A response in arousal was measured by a special infant pulse-oximeter probe placed on the large toe of the right foot. The graph shows an individual infant's heart rate (HR) during the 10 s before stimulation and the 10 s during stimulation as a function of stroking velocity. As the sample timeline (b) shows, baseline HR was recorded before the start of trials, and then stroking stimuli (in pseudorandomized order) alternated with short rest periods throughout the trials.

[Dr. Fairhurst, please note that panels (a) and (c) will be centered on the page before we publish the article.]

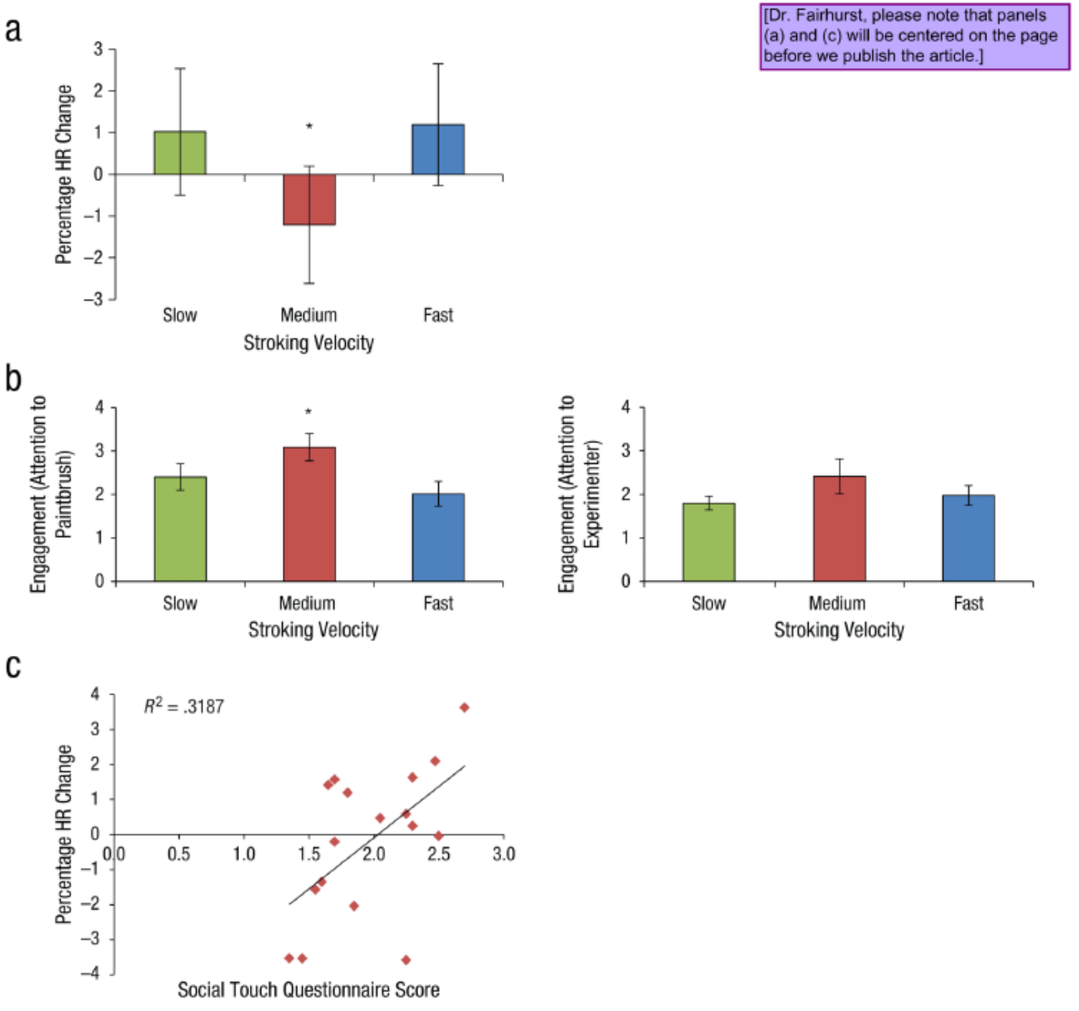
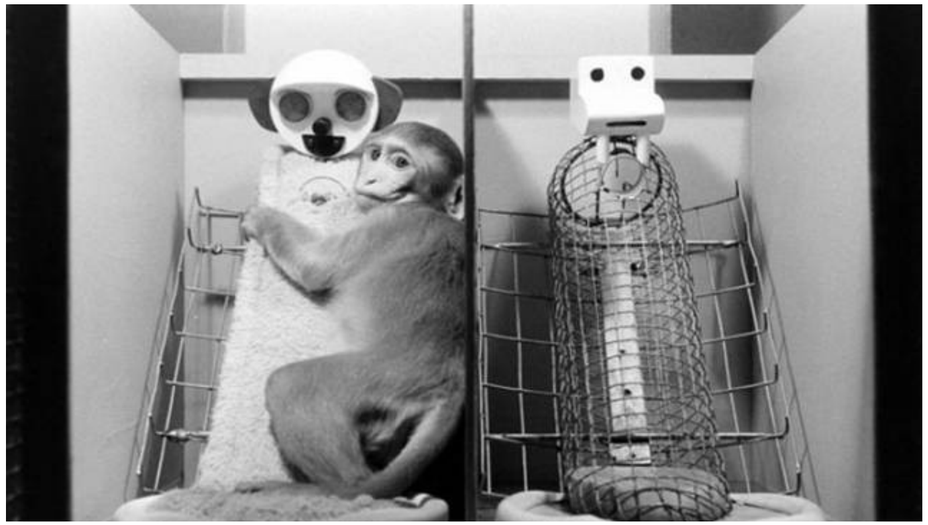


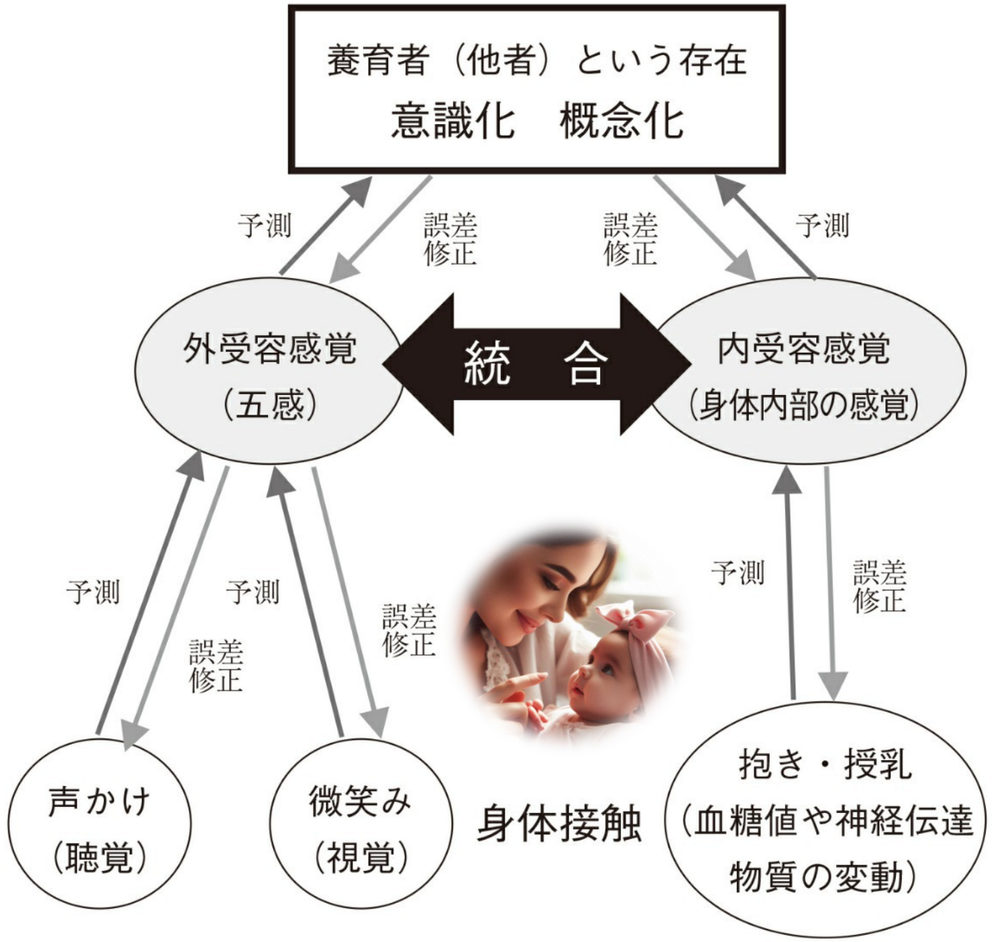
Fig. 2.
Results. Mean percentage heart rate (HR) change (a) is shown as a function of stroking velocity. Attentional engagement (b) is shown as a function of stroking velocity, separately for engagement with the paintbrush (left) and with the experimenter (right). Engagement was calculated as the duration of gazes divided by the number of gaze shifts. In (a) and (b), error bars represent standard errors, and an asterisk indicates a significant difference relative to the other two conditions ($p < .05$). The scatter plot (c; with best-fitting regression line) shows the correlation between mean percentage HR change for each infant in the medium-velocity condition and his or her parent's score on the Social Touch Questionnaire (Wilhelm et al., 2001). Lower scores indicate greater preference for social touch.

Fairhurst et al., Psychol Sci. 25(5): 1124–1131, 2014

触覚をどの様に経験しているのだろうか・・



Harlow, HF: The nature of love. American Psychologist, 13(12), 673–685, 1985



（出典）明和政子: ヒトの発達の謎を解く 胎児期から人類の未来まで (ちくま新書) (p.93). 筑摩書房. Kindle 版を一部改変引用

感覚について



触　覚



固有感覚



前庭感覚

固有感覚

筋肉（骨格筋）と筋紡錘の構造

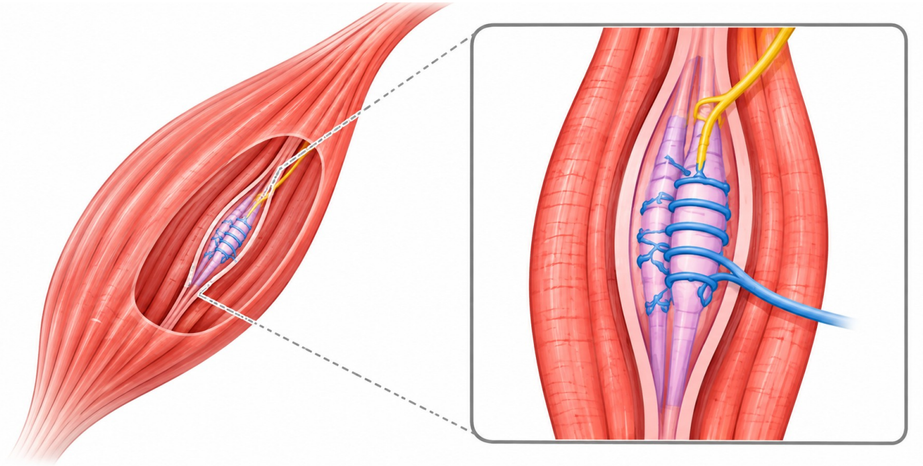


Illustration generated using ChatGPT (OpenAI).

固有受容器は、筋肉、関節、靭帯から送られてくる連続した情報を提供し、

身体や身体部位の位置、運動の速度とタイミング、筋力の強さ、筋の伸長速度などの情報を伝える

（Proske & Gandevia, 2012)

固有感覚

能動的運動と**受動的**運動の区別（運動を予測する）

能動的運動 と 受動的運動を区別して
考えることも、支援において大切！

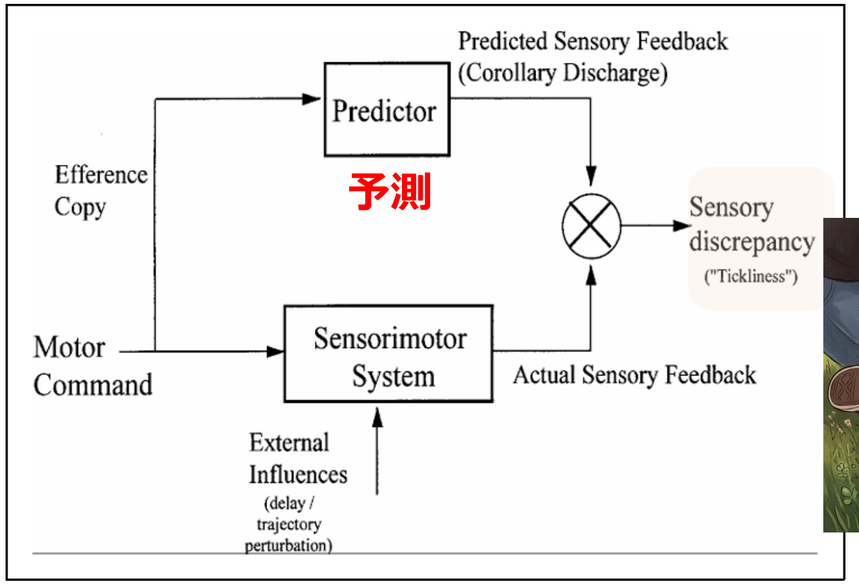




Illustration generated using Gemini

（出典）Blakemore SJ et al: Journal of Cognitive Neuroscience 11(5):551–559, 1999

ちょっと体験をしてみましょう？

感覚-運動経験と自己

<u>胎児期～新生児期にみられる屈曲姿勢</u>

「子宮内での屈曲姿勢におけるさまざまな方向への頚部の回旋、手でのプッシュ、足でのキックなどは、頚部・体幹の筋群の発達を促進」



Illustration generated using ChatGPT (OpenAI).

「子宮壁をキックやプッシュする時は、手と肘のつながり、肘と肩のつながりを**認知できる（身体図式**：body schema)」

（参考）Hong JH （著）; 紀伊（監訳）：正常発達　脳性まひ治療への応用, 2010

感覚について



触　覚



固有感覚



前庭感覚

前庭感覚

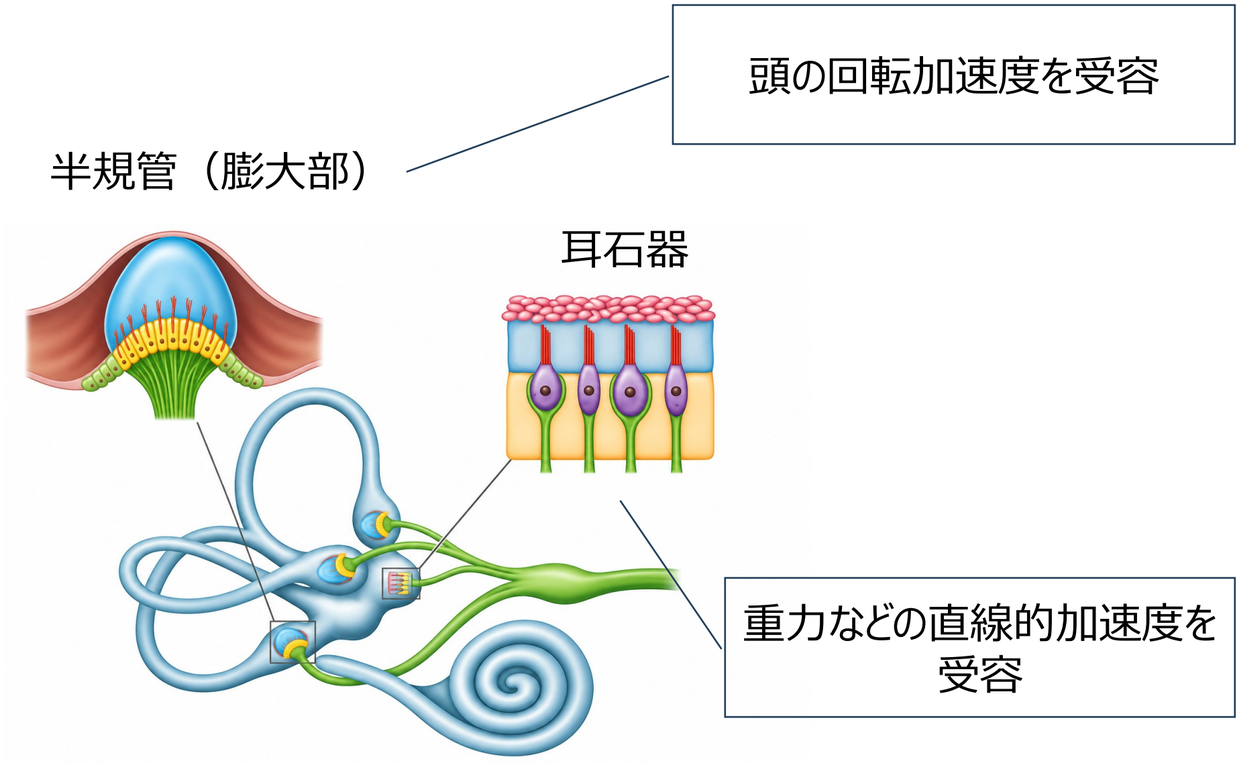


Illustration generated using ChatGPT (OpenAI).

（出典）Ashwell; 松元（監訳）：脳と心と身体の図鑑, 2014より一部改変引用

眼球、**頭部**、**体幹**の姿勢運動制御に関与し、バランスを保つことに重要な役割を担っている

注意を安定させたり、空間内の身体の位置の知覚や運動の知覚のために他の感覚系を活性化している

（Dieterich & Brandt, 2015)

遮眼書字テスト（福田精）

原始的な反射（緊張性頸反射）の影響を利用

閉眼で縦に字を書き、開眼時と比べる

大場：機能神経学テキストⅠ　感覚･運動系, 2016

ちょっと体験をしてみましょう？

辛いものが得意な人も苦手な人も‥



Illustration generated using Gemini



Illustration generated using Gemini

生活や発達への影響を考えることが大切

感覚特性

感覚特性は自己調節と関連

自己調節
Self-regulation

- さまざまな状況において、社会的に受け入れられる方法で**情動**や**行動**を管理し、取り扱うこと
- 課題や状況に応じて適切に**覚醒**し、**覚醒**レベルを維持し、変化させる能力 （Williams et al., 2020）

＜自己調節の４A＞

Arousal	：覚醒	適切な覚醒レベルを維持すること
Attention	：注意	注意を維持すること
Affect	：情動	適切な情動反応を示すこと
Action	：行動	目的的に行動すること



Illustration generated using Gemini

感覚特性のアセスメント

- 日本感覚インベントリー（JSI-R：Japanese Sensory Inventory Revised）
  https://jsi-assessment.info/jsi-r.pdf
- 日本版感覚プロファイル
- Sensory Processing Measure Second Edition （SPM-2）
- Sensory ExperiencesQuestionnaire Version 3.0 (SEQ-3.0)

目には見えにくい問題

- 感覚特性は1つの場面から判断すること困難です（思い込みによる解釈に注意）
- さまざまな要素が関連するため、前後の文脈も考慮します（体調や心理的要因）
- ある感覚には過剰に反応しても、別の感覚には鈍感だったりすることもあります
- 本人も、感覚の問題に気づいていないこともあるかもしれません
  (年長児の場合、自己理解につなげていくことも大切になります)

感覚特性

意見交換

グループディスカッション

感覚特性が関連していそうなこどもの行動は？

1 具体的な行動

2 どんな感覚特性が関係していそうですか？

3 どんな関わりや支援（対応）をしていますか？

支援

本人と周囲を支援する

感覚統合療法
ASI
（**評価**と治療）

感覚戦略

環境調整

感覚調整
（自己調節）
プログラム

感覚・知覚-運動

プログラム

その他

（例）支援グッズの活用



（例）Alert Program®（覚醒プログラム）



Illustration generated using Gemini

（参考）　Blanche ＆Bodison, 2021 revised 2022

本人

エンジンレベル

Alert Program® （覚醒プログラム）



高い覚醒

適切な覚醒

低い覚醒

Aさん

Bくん

Cくん

Dさん

時間



Illustration generated using Gemini

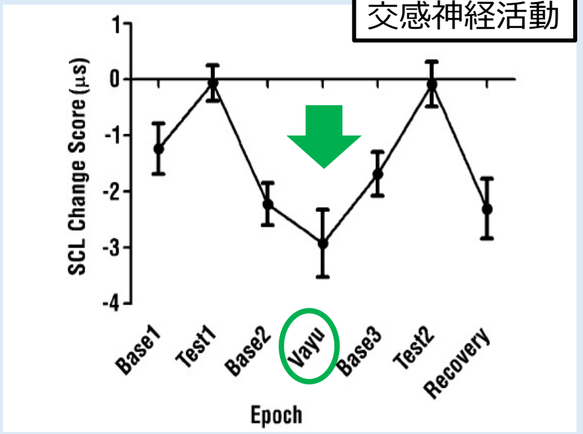
エンジンレベルを調整する感覚刺激

Alert Program® （覚醒プログラム）

口腔	運動	触れる	見る	聞く

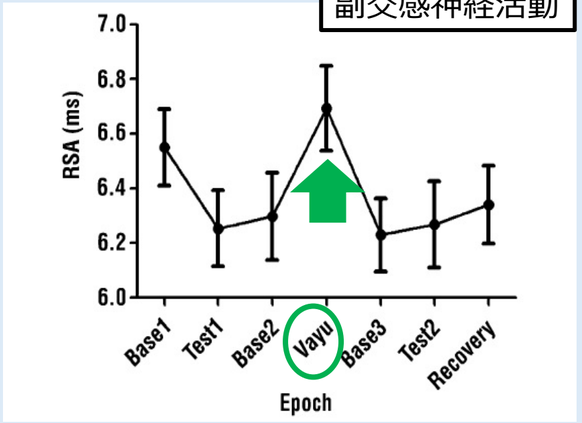
感覚刺激を生活の中で取り入れる

交感神経活動



課題のストレスで上がった覚醒が
下がっている

副交感神経活動



課題中より鎮静した状態になっている

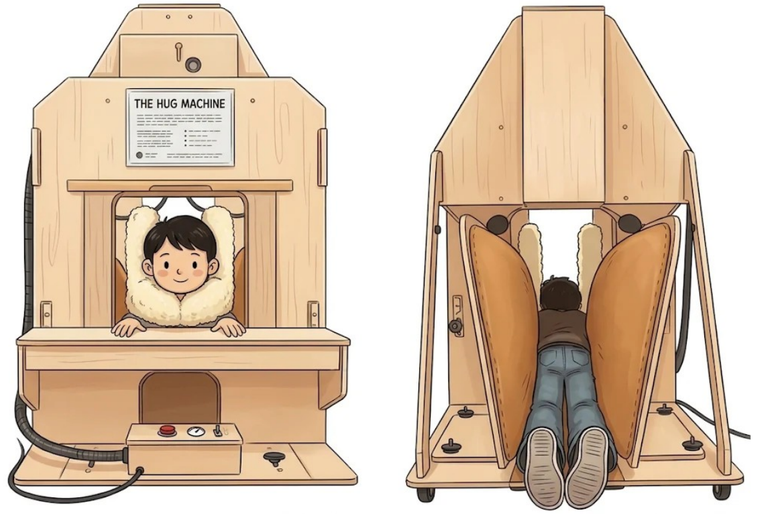


https://connectingpoint.nepm.org/vayu-vest/（2024/9/29検索）

対象：18－35歳の成人
（ADHD，不安症，抑うつ症状 など）

テスト課題（iPadを使用したゲーム課題）
間での覚醒の変化を自律神経指標で計測

Reynolds et al. Am J Occup Ther. 69(3):1-5, 2015



Temple Grandin Hug Machine
Illustration generated using Gemini

“その効果は刺激的でありながら、同時にリラックス感ももたらした。だが、自閉症者である私にとって最も重要なことは、情愛の過剰表現の中にのみ込まれるような感じではなくて、私自身が**コントロール**する立場にあり、締め付けの程よさを、アン叔母に指示できたことである”

（出典）テンプル・グランディン，他：我、自閉症に生まれて，1994

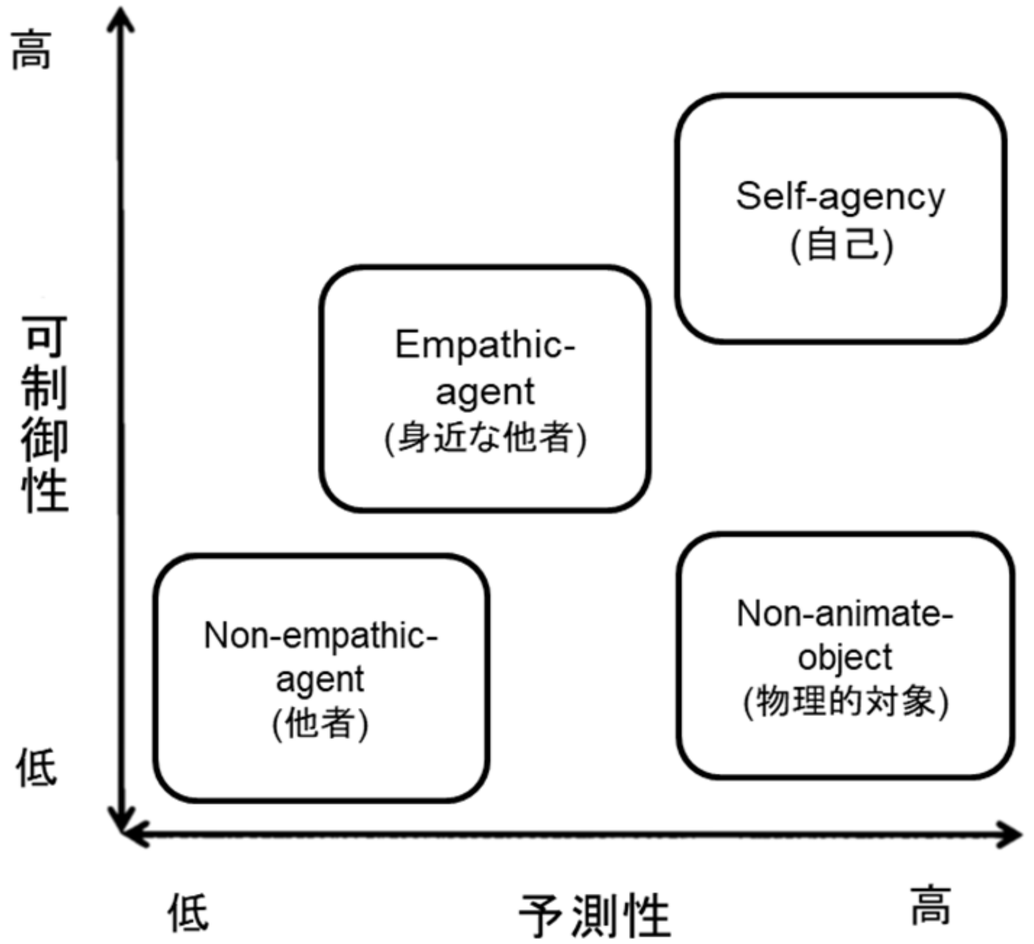
感覚刺激の**予測性**と**制御性**を考慮した関わり

個別性が重要

その子にとって、予測性や制御性の高い感覚は?!

・制御しやすい状況（例：自分で停止ができる）
・予測しやすい条件（例：馴染みの人・空間）

感覚刺激が提供される**状況**や**文脈**も考慮することが大切



髙橋・宮崎（2011）心理学評論54, 6-24より引用

こんなことは、ないですか？

その１　聴覚過敏があるから、騒々しい活動には参加しないほうが良いと周囲が決める

困るのは誰でしょうか？安心するのは誰でしょうか？

その２　必要がない状況でも、支援グッズを使用している（そのまま使用し続けている）

実際にどの様な効果があるでしょうか？

その３　こどもが感覚刺激を求めているため、いつも感覚遊びを行っている

遊び（活動）は、こどもにとってどの様な意味があるでしょうか？

周囲

■ こどもの感覚特性に周囲が気づいていないこともある

- 自分の子育ての問題と感じているかもしれない
- こどもの行動特性を理解する余裕がない状況かもしれない

■ 周囲とこどもの感覚特性が影響し合うこともある

- こどもの行動や反応を理解することが難しいかもしれない
- 共感や愛着を形成する過程に影響するかもしれない



Illustration generated using Gemini

グループディスカッション

保護者を支援する際に何を大切にしますか？

1. お子さんには、感覚に関連する行動特性がありそうです
2. 保護者は、行動の問題をなくしたいと考えています
3. 保護者は、お子さんにどの様に関わればよいか悩んでいます

意見交換

まとめ

感覚の問題は**多様**です（お話しした内容は、その一部とお考えください）

科学的にも分かっていないことが、多くあります（研究が必要です）

外見からはわかりにくい問題だからこそ、

困っている現状を理解する**対話**（言語・非言語）と努力が大切だと考えます

さらに学びたい方へ



https://si-japan.net/ (2026/11/7検索)